京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●最近の市況（七十萬圓の貸出增加）

商業會議所最近の調査によれば一般市況に於ては一時米穀買出及冬物仕入等時節柄多少の活氣を現し來りしが就中昨今は韓銀懸募株拂込の爲め日韓兩側の各銀行を通して先八月に比すれば今日に於て約七十餘萬圓の貸出增加にして近來未曾有の事なり尚ほ一般市況は時節柄コレラ猖獗の爲め大に打撃を受け一時頓挫を來せしも昨今同病終熄に近くと共に稍回復の好期に向へり

▲建築材料 同材料は漸く結氷期に近かんとするの今日に於て何れも工事大急ぎの姿にて爲に多少の市價を上したるに拘はらず需要盛なり

▲米 新米の出廻りを氣構へ一般買控への姿にあり

●地方農作の狀況

先日來揚州、加平、交河、長湍、坡州の各郡に出張し昨日歸任せる未察地課福岡主事の談によれば前記の各郡は灌漑の便なく全く天候によりしに拘らず非常なる豐作にして人民共は今上帝の即位されてより三ケ年每年如此豐作の繼續するは全く陛下の御威德によるものなりと欣喜し居れるが玆に彼等の杞憂せる一事は暴徒蠢にして豐作は結構なれども彼等の誅求も亦大なるべしと語りゐへるが目下の暴徒は政治的意味を有するものは皆無にて二十人內外の火賊の團体に過ぎざるを以て人民等も直ちに憲兵隊又は警察等に密告し其保護を仰ぎ居れり

●小作權と賣買の慣習

韓國に於ける小作權の賣買は此を『私賭』と稱し小作人は地主より得たる耕作の權利を地主に告ぐる事無くして竊に一定の金額を以て他人に讓渡轉輾し遂に地主は自己の土地の小作人が何人なるやを知らず收穫時に至り小作料納入者を見て始めて此を知るを普通とすると云ふ又小作人の死に臨み子孫を集め遺言して汝は甲地を耕作す可し汝は乙地を耕作す可し等の處分をなし宛然自己の所有地を處分するが如き觀あり此境遇に於ても亦地主は小作人の何人なるやを知らざる結果を生ずと云ふ、然而小作の權利の賣買價格は通常其土地の賣買價格の三分の一位なりと云ふ如斯なるを以て地主は土地の改良を欲し若くは小作人を交迭せんと欲する事有るも何人を相手に談判す可きや容易に知り難く特に小作人を交迭せんとするも殆んど實行し難し何んとなれば小作人は悉く其權利を一定の金錢を以て前小作人より讓受けたる者なるを以て地主が小作人の何人なるを知りたりとて直ちに解約せんとするも到底なし能はざるを以てなり故に小作人は頗る專橫なる擧動を敢行し地主は自己の土地を自由に管理する事能はず土地は年々瘠土とし小作料は歲歲其額を減し當初は收穫物を折半する約束なりし今日に於ては三分の一に滿たざる者多く地主の管理權回收希望は比年盛なるも如何ともする事能はざる者現今の狀態なりと云ふ

●炭疽豫防注射の成蹟

過般炭疽豫防注射施行の爲め登津、黃州、鎭南浦地方へ出張中なりし農商工部本多技手は九日夜歸任されたるが同氏の談によれば炭疽發生地の二里四方を限り各牛に付豫防注射施行したるが韓人共も其効力の顯著なるを知り自ら進んで其飼養牛に注射せられんことを希望し來る有樣にて豫防注射の効果は頗る佳良なりと云ふ

●平壤經濟界便り

當地經濟の狀況は京城、仁川地方とは其趣を異にし彼れが如く唐突なる發達をなさず幾分か秩序的發展をなしつゝあり日露戰役以降一昨年頃までの狀態は例外として之を措き其れ以後は兎も角も順調なる發達を遂げをるものゝ如く現に本年當初よりの狀態を大觀するに流動資本即ち商取引上の金融機關としては第百卅銀行出張所及第一銀行支店のあるあり而して今その後者に就て見るも第一銀行支店本年二月末貸出總額は三十七八万圓に上り爾來各月その額を增加し七月末に至り貸出は俄然十八萬圓に減額し或は之れ經濟界の變調を示すものならずやとの感を抱かしむるに至りしも節恰も商家に流動資本の必要なき時期に際したる爲め自然貸出減少したる譯にて經濟界變調の致す所にあらず去れば超ねて九月末には貸出總額又々三十一萬圓の高額を示すに至れり則ち此の勢を以て進まば十月末に至れば再び三十七八萬圓に上るべく殊に一般經濟界の漸く順調に向ひたる今日なれば平壤經濟界は元より益々順境に赴くものと推想するを得べきが如し而して斯く當地經濟界の順調に向ひつゝあるは交通機關の發達と共に從來の如く商人が見越し輸入をなさゞるに至れるも亦その一因なりと云ふものあり

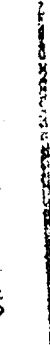
●北龍岩浦片信

拜啓當地燈臺局分署長退役海軍少佐三浦義保氏は日露戰役後多獅島錨地附近及び鴨綠江等水路測量に寢食を忘れられ候位に候ひしが其結果二千噸餘の大船が容易に出入するより日清韓三國營業者の得る處の利益は蓋し偉大なるものに候於此三國人連合發起し同氏の爲紀念塔を建設することゝ相成り臺峰山上へ工事中の處此程落成致候を以て十月三日其除幕式を施行され小生も席末を汚し候一人に候十一時開式さるゝや發起人總代は三浦氏の功績を賞へ並建設に關する報告を爲し波多野日本人會長は居留民を代表して祝辭を述べ三浦氏の答辭に次ぎ時尾營林廠長の來賓を代表しての謝辭あり一時式を終ると同時に立食場及び餘興は開始され安東縣より態々來り候美形は土地の美人と共に數番の手踊をなし又酒間の斡旋至らざるなく大に來賓に滿足を與へ申候全く散會致候は五時にして當日の來會者五百餘名龍岩浦開港以來初めての賑ひにて候ひし（片山生）

鎭西八郎

第六席　伯山改　神田松鯉口演

其內に妻八代は粟の飯に鮎の白燒を作り、紀平治は一瓶の酒を取出して勸めまする、爲朝も夫婦が厚意を悅び、其酒を飲むに、味至つて美しく葡萄のやうな甘味がある、爲「オヽ是れは美味である、コハ何を以て釀せしものであるぞよ」と問ふ、紀平治は「左ればでございます、此れは山中にても稀なるもので、猿酒と申します」爲「ウム、猿酒と申すか」喜「ハイ、秋の末に至りまするど猿共が木の實を貯へんが爲めに澤山に取集めて、木の虛空、又は巖の凹みましたる所へ仕舞置きまするうち、月日を經て果實自づと盡く潰へ自から酒の如くになりまするもので手前計らずも發見しまして汲んで參りましたものでございます」爲「ア、左樣であるか誠に珍らしきものを馳走になり百年も壽が延びるやうな氣が致す」爲朝が滿足の体に紀平治夫婦も馳走した甲斐ありと共に喜び重季も共に猿酒を馳走になり、是れより紀平治は爲朝から軍學兵法弓術の話など聞いて大に感服なし、遂に主從の約束を結びました、其內に日はトップリと暮れましたから、紀平治に別れを告げ須藤九郎重季と共に松火を振照らして立歸らんとするに、彼の猿は何も其の後方に從ひ來て追ひ遣れども歸り往かず、此夜より爲朝の住む部屋の邊りに居りまして、何うしても去りません爲朝も哀れに可愛く思ひ、一匹を山雄と名づけ、一匹を野風と呼び、宛も飼犬の如くにしてありました、此二匹の猿爲朝に能く馴れ親しみ、爲朝の往く所へは必らず御伴して參ります、然し萬一他人に害を與ると ならぬゆゑ、鎖を以て繋いで置かれます、さて八郎爲朝は一度八丁礫喜平治太夫に面會なしてより深く喜び、常に其家に往つて彼と共に終日狩り暮し、いつも二匹の猿の內必らず一匹づゝ曳きて行きまするが、此の猿は恰も獵犬の如く能く猪鹿を追出し、多くは主に手を下させず、已れ先之を嚙殺して献らする、或時須藤重季爲朝を諫て申すやう 須「我君は正しく淸和源氏の嫡流として大國の守ともなり給ふ身の、一旦大殿の勘當を受け給ひたればとて、忽ち武道を忘却し、獵夫の業を事とし給ふこそ心得申さぬ、人は氏より育ち、朱に交れば朱になるゝ諺にも申し候」と面を犯して申しが爲朝はニコ／＼と笑つて 爲「其方の云ふ所有理である、然かはあれど我れとても徒らに獵夫の眞似をなすにあらず、汝も知りつらんが、彼の尾張權守季遠は、今我れを親切に世話し吳るゝと雖も、元來彼れ器量狹く、賢を嫉みて己れに勝れるを忌み嫌ふ我れ此事を覺りし故に、却つて彼れの爲めに禍に遇はんことを恐れ、態と終日山に狩り暮して他に野心なきを示すは、是れ我が遠き慮りである、即ち重遠が心を休めん爲めなり、見よ我が獲たる獸をば皆紀平治に取らせて、彼れが生活の助けとなして居る是れ我が利を貪るにあらず、又山獵のみを以て身の樂しみとせざる事を推察し吳れよ」と小聲になりて私語くに、重季大に感じまして 重「左ることゝも思ひわきまへず、利口振りて諫めまいらせ、由なきことを申しつることを落度にて候」と申した是れより須藤重季も爲朝と共に每日猿を引連れては山中に狩事すを常として居りました、斯くて其年も暮れ、春も彌生の始めになりましたが、爲朝も既に十六歲、今は一個の壯夫となつた、重季は之れを見て、若し都にましまさば最早官人の數に入りたまふ御年、然るに斯かる邊土にさすらひたまひて御部屋と云ふも漸く尾張權守が屋敷內の離座敷の二タ間に過ぎず、最早都を去つてより四年唯の一度も都へ音信をし給はず、大殿も能き程にお迎ひのお使を下さりさうなもの……と流石に爲朝を思ふ誠忠よりして重季は心中大に嘆いて居りまするのわ無理ならぬことでおります、或日爲朝は如例より朝早く起き出で、弓矢を携へて、山雄と云へる一匹の猿を曳いて木綿山へ赴かんとされました。



京城新報

大陸經營の轉進
再び伊藤公の外遊に就て

伊藤公今回の外遊は單に尋常の視察に非ずして、必ずや我對大陸策に就て或問題を解決せんが爲ならんか、公の視察によりて我大陸政策に一轉進を見んことを期待すべきは我輩の屢々述べたる所、然るに公の外遊は早くも列國に反響を生じ、桑港電報に據れば最近より米國に伊藤公の満洲視察は政治上重大なる意味あるものとして頗る官邊の注意を惹き米國外交家は日本が満洲に於て米國の政策を危殆ならしむる諸種の特權を獲得しつゝあるに對し非常に憂慮しつゝあり、日本が最近錦州瓊琿鐵道及満洲鐵道支線建築權を得たるは日本の承諾を得ざる可らずとの特權を得たるは他の外國人排斥に了らんことを恐れつゝあるが伊藤公の満洲旅行は其狀態を研究して或は有得べき他國の抗議に對する答辯の材料を得んとする準備ならんと云ふにあり、此等は米國に於ける或一部の見當違ひの推量にして素より取るに足らざるも、公が今回の外遊が如何に重大視せられ居るかの一斑を知るに足る、余輩は公の外遊は決して單に消極的のものに非ずして、少くとも帝國の大陸經營に對する方針を確立する爲なるを信ぜんと欲す、満洲に於ける當然帝國の爲すべき權利を遂行する積極的の方針を確立せんが爲なるべきを信ぜんと欲す、之れ帝國の對大陸策として斯くあらざる可らざれば也。

東電は報じて日く、伊藤公の満洲視察に就て山縣公と會見し満洲問題に關し懇談數刻に渉りたるが、更に亦東電は報じ來る、政府は關東都督府を廢し満韓軍政統一の爲めに伊藤公の渡満も之が爲なりと、本日山縣公會見したり、果して公の渡満が關東都督府を廢して満韓軍政の統一をなすが爲めなるや頗る疑はし、素より満韓軍政の統一はなさゞる可らざるも、此問題は敢て伊藤公の出馬を煩はすに及ばざる可し、余輩は満韓軍政の統一と云ふよりも、寧ろ對大陸策上満韓經營を統一する必要あるべきを思ふ、帝國の大陸經營は満韓は其の孤々分離す可からざるもの、其間に秩然たる統一ありて經營の歩武を進めざる可らず、統監として韓國の開發に盡されたる公は必ずや此點に就て思ふ所あるべきを信ず、然るに公の満洲視察を以て満國に對する緩和策を講ずる爲なりと推測するものあり、是れ公が平生の主義政策を付度したるのみならず、素より列國に對する交誼は重せざる可らずと雖も、之が爲に當然遂行すべき權利を放擲するの謂れなからん、何れにしても公が今回の外遊は大に刮目すべきものあるべし其視察の結果は惟ふに我對外經營に幾分の轉進を見るべきか、聊か所感を記して之を深く公に期待せんとするもの也。

東京電報

我陛下と大演習
今秋擧行の特別大演習には工兵第八、第十三、第十四の三箇大隊を以て架橋隊を編成し兩軍に配付せしむる豫定なるが演習初日に於ては鬼怒川上流に架橋工事を行ひ大元帥陛下には其岸の小高地に行幸親しく御統監遊ばさるべき計畫なり(同上)

間島總領の出發
永瀧間島總領事は[illegible]を隨へ本日午後三時四拾分新橋發赴任したり(十二日)

首相邸の晩餐會
桂首相は昨夜官邸に國際新聞協會員及び伊藤公大隈伯を招待して晩餐會を開きたるが首相の挨拶に次ぎ伊藤公は一場の挨拶をなし且つ「今回の満洲旅行は世間傳ふるが如き何等の政治的意味あるに非ず單に觀風的漫遊に過ぎず」と述べたり(同上)

満洲銀行成立せん
大藏省は政府部內の主張を容れ満洲銀行設置に關する調査を再開したるが多分設立さるべき形勢なり(同上)

期米市場の開始
紛擾に紛擾を重ねたる東京米穀取引所は十三日に於て解合ひ成立し十四日午後より立會を開始せり(同上)

工場法案の調査
目下農商務省に於て調査中なる工場法案に就き內務當局の談に依れば工場法案の取締は勿論衛生防疫等に關し職工の年齡及勞働の制限並びに工場內の危險物取締等にして主として[illegible]の多しと(同上)

樞密院と司法權
本日樞密院會議に於て韓國司法權委任に關する諸法規は原案通り是認されたり

二年兵役と歸休
二年兵役制實施の結果各師團共に歩兵並に看護卒の二年兵に對し來る十一月末を以て全部歸休を命ずる筈にて本年度は特に各特科隊に對し各中隊より三十名位の歸休を命ず(同上)

韓國銀行と大株
韓國銀行の大株主は韓國政府及び日韓兩帝室分を除き左の如し(同上)
[illegible]株三名 一九九株

地方改良講習會
第二回の地方改良講習會は昨日文部省に於て開會す[illegible]日は一木次官其他[illegible](同上)

間島領事館開期
間島領事館は二十六日頃より龍井村に開館の豫定なり(同上)

伏見宮妃御着新
伏見宮妃經子殿下は昨日新潟へ御着同地一泊彼衛に向はせらる(同上)

學制改革案調査
高等學校の改造及び學制改革案は近來其調査大に進捗したるを以て近々招集さるべし高等教育會議に意見を諮問する筈なり(同上)

▲西澤島賠償受期 プラタス島問題は十一日調印を了したることは既報の如くなるが西澤の同島に於ける事業を二十五日迄に支那に引渡したる後十五日以內に賠償金十三萬元を受取るの約なり(同)

▲韓太子輕井澤行 韓太子殿下には十六日信州輕井澤に赴かれ十八日歸京さるゝ筈なり(同上)

浦鹽電報

浦鹽と制限自由港
當地商業會議所は近々來着すべき大藏大臣ホコムロフ氏に浦鹽斯德制限自由港を設る事北満洲通過貨物に便宜を與ふると同時に北満洲よりの貨物運賃を低減する事從價稅制を設る事其他十箇條を建議するに決す

露藏相の東亞行
露國大藏大臣は東亞視察の爲め露都を出發し浦港へ向へりとの報あり(十二日)

倫敦電報

商務院長の宣明
英國商務院長チャーチル氏は政府提出の豫算案に對し上院若し否決せんか自由黨は上院が豫算案に干涉するの權利あるや否やを國民に問ふべしと宣言す(十二日東京經由)

雜報

●伊藤公爵の旅程
伊藤公爵の旅行豫程は十二日東京發十四日大磯發十六日門司發十八日大連上陸の順序なるが其後の旅程は隨時隨定にして未定也

●法權實施と諸法規
司法權委任實施に關する諸法規は十三日の樞密院會議に於て議せらるべき豫定なりしが伊藤公の満洲視察に依り一日を繰り上げ昨十二日院議に附せられたるを以て四五日の內には發表せらるゝ筈なり

●任用さるゝ判檢事
法權實施に就て新たに任用さるべき判檢事の數は約百名なるが此際韓國に在る官吏にして判檢事に任命せらるゝ者は各理事廳の副理事官にて約九名法務院より四五名法部より兼任にて三四名書記より十名以內韓人より十名以內合計四十名內外なるが殘員は日本より赴任する筈にて既に赴任し居れる者あり而して區裁判所百十三箇所の內重要なる箇所には檢事を置くも多くは警部を以て檢察官の職務を執らしめ判事一名と書記は必ず置く筈なりと云ふ

●法權と緊急勅令
當局者の語るところに依れば司法權の實施に就き緊急勅令を以て發布せらるゝ諸法規は左記の二案にして其の他は普通の勅令に依り發表せらるゝ筈なりと
(一)統監府裁判法
(二)韓國に於ける司法事務及監獄事務の取扱に關するもの
前項の第一は理事廳及法務院の裁判に依るべき法規にして第二は韓國の司法及監獄に關する事務取扱に關するものにて之れを悉く法律に委するは常に帝國議會の協贊を經ざるべからず甚だ面倒なるに依り一の淵源法を設けて諸般の法規を作るに簡便ならしむ趣旨なりと

●兩鐵道起工と統監府
京元三南同時に起工さるべきか或は一線のみを先づ布設するが一線のみとすれば何れを急設すべきかに就ては各利害關係ある地方民の頻りに知らんと欲して統監府に質問する所なるが其實統監府にても確かなる事を知り居らず目下政府に問合せ中なるを以て數日中に判明するに至るべしと

●在間島官憲の引揚期
別項記載の如く間島に在勤を命ぜられたる永瀧總領事は釜山より直ちに間島へ赴任する筈なるが着任後直ちに支那官憲との交涉を開始し總領事館開廳と在來官衙の閉鎖式を擧ぐる準備を爲し閉鎖式は來る二十九日擧行する筈なりと

●司法權委任問題閣議
司法權委任問題に關する諸案件は延期されたる十三日の大阪會議に提出さるゝことに決定し居たるが是に就き十一日夜政府より統監府に更に電報ありたるを以て愈々同會議にて萬事決定さるべしといふ

●間島引繼と次官會議
統監府に於ては十二日午後一時より間島に關係ある各部の次官即ち岡內部、俵學部、荊地農商工部次官代理、鈴木度支部次官代理、及齋藤大佐を招集し間島の引揚に關する協議を爲したり

●水源地保護と內部令
內部は部令第六號を以て纛島より龍山鐵橋に至る漢江流域に漁撈漂衣其他洗滌を爲し又は屎尿吐物塵芥及汚穢物を投棄することを禁止し犯かす者は罰金又は拘留に處する由

●日英博と韓政府負擔
韓國より日英博覽會の出陳は既報の如く日本の殖民地として統監府出品の名義を付する由なるが其經費豫算四萬圓を計上し其半額二萬圓は農商工部をして負擔せしむべし

●永瀧領事と齋藤大佐
間島に赴任すべき永瀧久吉氏は來る十五日釜山に着し齋藤大佐と同所に落合たる上直ちに間島へ出發の筈なりと

●引繼後の韓國銀行
韓銀は廿九日に創立總會を終り十一月二十日より月末にかけ引繼を終るべきが引繼後中央と地方と多少人の入替へを行ふ部內の小異動あるのみにて行員其他總て現行の儘を引繼くものなれば其營業振りに至りては無論從前と異る所なく之等は畢竟經濟界に變動の爲め惡影響を來ゝる樣特に注意したるものにして一銀にては京城釜山の二支店は國庫に關する事務を除く外矢張り從來の通り營業すべしといふ

●水道賣却の交涉
一度起りて其儘となり居たる大韓水道賣却問題は此程又々再燃し水道會社側を代表せる某氏は目下東京に在りて其交涉中の由なるが日本人側にして若しシンヂゲートを組織して之を引受くるものあらば日本興業銀行は該資金の全部を引受けん意向ありと

●一銀貨幣發行高週報
(自十月三日至同月九日)

一第一銀行券總發行平均高	一一、五二九、六〇〇
內	
正貨準備發行額	三、九一八、六〇〇
保證準備發行額	七、六一一、〇〇〇
二銀行券平均許有高	八六七、一四〇
三銀行券市場平均流通高	一〇、六六二、四六〇
四硬貨發行額(十月九日現在)	四、七八三、五八五
內	
金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七三〇、五〇〇
同 廿錢	八八八、〇〇〇
同 十錢	七〇八、五〇〇
白銅貨五錢	七六四、八五〇
青銅貨一錢	一七五、三四五
同 五厘	六六、三九〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●去月の釜山滊船會社
去月中に於ける釜山滊船株式會社の營業成績に就き農商工部に達せる報告によれば九月中は先月に比し舊盆前なりし爲め荷客は著しく增加し又出穀時期に際せるを以て多少穀物輸送の增多を呈せり其他は前月と大差なく輸出品としては釜山より北韓の明太接續と日用雜貨或は軍隊の需要品及び石炭等にして輸入に於ては各寄港地より漁獵物海產物等の托輸あり就中輸入の最たるものは木浦より木炭浦頭より米豆等顯著なるものなりと云ふ

●仁川民會の議事案件
仁川居留民會は既報の如く昨日午後八時より開會せし筈なるが議事案件は左の如くなりと云ふ
一、民團四十二年度歲出更正豫算の件
一、仁川病院現歲 更正豫算表の件
一、民團書記定數規則改正の件
一、大神宮神職死亡給與に關する件
一、斗量場使用規則改正の件
一、仁川第二公園設計費支出の件
一、一時借入金の件
一、不用建物賣却の件
一、藝妓稅減額の件

●瓦斯管新埋設の個所
今回新に新設すべき個所は十一日より開始したる旭町二丁目(五吋管)を始めとし民團役所前より本町六丁目(六吋)七丁目より八丁目(五吋)新町(三吋)新築一銀角交番脇より南大門通を明治町二丁目迄(三吋)旭町一、三丁目全部(三吋)南山町一丁目四丁目(三吋)同二、三丁目(四吋)壽町一、二丁目(三吋)大和町一、二丁目(三吋)等なりと

●兩鐵道と仁川の態度
京元、三南兩鐵道起工に關する仁川人士の意向は仁川の立場として兩鐵道の速成を希望するものなれば之れが打合せの爲め荻谷書記長は昨日入京せり

●夏目氏出發と澁川氏
目下鈴木局長邸に滯在中の夏目氏は十三日午前九時出發歸東の筈にて澁川氏は十一日夜安東縣より歸京し浦尾旅館に投宿中なり

●牛價低落の趨勢
日本に於ける韓國畜牛の需要は年々其數を增進し輸出貿易上の最重要位を占むるに到れり加之近來其價格著しく低落し現に昨年五六月頃は其市價一頭に就き六十圓位なりしに昨今は其半額以下即ち平均二十七圓五十錢となり前途倍々好望の域に進めり而して輸出は年々其額を增加せるに拘はらず市價斯の如く低減の現象を呈せるは其所因那邊に在りやと言ふに昨年五六月の市價は寧ろ異例の高價にして現時の低落は却て順境に復せるものと見て可なり思ふに韓牛は從來格別日本の注意を惹かざりしも三拾七八年戰爭の爲め日露兩軍の需要激增し次いで三十九年以後盛んに輸出を促進せり當時日本の牛商は韓牛賣買の有利なりしより親しく韓內地へ渡來して競買を試みたる結果頻りに市價を釣り上げ甚だしきは一頭の畜牛に二三名の牛商現はるゝが如き奇現象を呈せる爲め遂に韓國未曾有の高價を呈せしめたり爾來韓內地の農民は畜牛の好望なるを認め增殖の途を計ると共に不幸牛疫の流行は日本需要者の恐怖心を喚起し曩の盛況に多大の影響を與へ輸出著しく減少するに到れり然れば昨今の牛價は戰後の反響と供給の過大に原因し更に韓牛輸入取締の爲めに發布せる日本の農商務省令亦幾分の影響を與へたるものゝ如し然れども該令は原則として韓牛輸入を禁止せるも韓政府設置の輸出牛檢疫所を經由せるものは此限に非ずと例外を置きたる爲め何等影響を受くる事なく寧ろ却て健全なる韓牛輸出を獎勵するものなり故に當局者は鋭意檢疫の勵行と共に將來益々其好望を認め居れりと

●仁川倶樂部改革
仁川倶樂部は從來有名無實に流れたりしが今回岩崎民長の主唱にて發起人十數名を募り愈々舊弊を脫して會員組織に改め倶樂部の目的を遂行する爲め新聞雜誌縱覽場及び球戲場碁將棋其他娛樂場を設備し時々談話會並びに競技會をも開催して會員の親睦と知識の交換を圖る事に決し來る十四日午後七時より倶樂部樓上に於て之れが發起人會を開く筈なりと

●羽田氏の來着期
大阪每日新聞社京城支局長たる羽田浪之紹氏は南歐政況視察の爲め渡航中なりしが既に巴爾幹半嶋を巡遊して來る廿六日頃西比利亞満州を經て當地へ來着する旨菜氏の許へ消息あり

●執務時間の復舊
虎列拉流行の爲め執務時間を午前中に減定せし統監府は來十五日より舊規の時限に復歸する由なり

●齋藤大佐の歸任
歸任の途次當地に立寄れる齋藤間島出張所長は本日當地を出發し十五日釜山を經て歸任の筈なりと

●清副領事の昇任
鎭南浦駐在支那副領事代理張國威氏は今回副領事に昇任す[illegible]

●仁川副院長着任
仁川病院新任副院長村谷醫學士は來る二十日着任する筈なりと

●佐々木局長着京
全州財務監督局長佐々木正太氏は十一日入京浦尾旅館に投宿す[illegible]

●近藤厚吉氏入京
長春日本領事館補の同氏は十一日夜入京不知火旅館に投宿せり

●日韓電通社移轉
旭町二丁目日韓電報通信社は今回長谷川町一丁目に移轉したり

近事片々

▲伊藤公が老身を挺し満州視察に赴かるに就き我皇后陛下より國風一首を賜はる
▲御歌は『あまつ神しろしめすらむ眞心を君につかふる臣の心は』と公涌風に感激…
▲而も美麗なる色紙に御染筆親しく公に御下賜相成しと與に陛下の御心最と畏し…
▲満韓軍政統一の東電來る伊公の渡滿は之が爲なりとは些と受取り難し是當推量…
▲都督府を廢し満韓の軍政を統一するは甚だ可しされど果して都督府廢止をなす…
▲満韓に殖民を集中するに就ては満韓殖民策を統一するが必要されど斷行覺束な…
▲竹越三叉南洋より歸て南方經營を說く元來は新奇を好む論客南方論は其の空論…
▲其言草が面黑ひ日本人は是迄支那に力を傾倒したり今は馬來人國に着目せよと…
▲我將來は馬來人國を以て蹈れたる大洋にあり満州に腰を据るは國家の不幸也…
▲是れ恰も昔の英國がノルマンデーに手を伸ばしたるが如しとは何處迄も三叉式…
▲英國はノルマンデーを失ふて始て好運に向へり我將來は大陸に非ず島にあり…
▲島と海とに我將來はありとは隨分奇拔の放言也是ぞ竹越君式の大膽なる空論の…
▲太平洋面に果して我の手を伸ばし得べき餘地ありや我將來の經營は大陸の外な…
▲假に南島經營をなすとせよ折衝列國と…して外交上の煩に堪へず放論も餘り極…
▲米國も本年は頗る豐作にして價格を見積れば百六十億圓也とナント大きなもの…
▲臺所が大きければ入用も多いが米國の富は實に羨むべし百六十億の農產には驚く…
▲長袖能く舞ひ多錢能く賈ふ廣き土地は富も多し日本の殖民地經營も之れで急…
▲日本の面積ではイクラ豐作でも知れたもの列國が殖民地經營に腐心するも謂わ…
▲三井家の組織變革藤田家の組織變更近來富豪の組織變更多きは何を意味する…
▲要するに御家萬代の榮を維持せんが爲めならんか是では天下は廻り持にならぬ…

●故完平君の葬儀執行
皇族完平君の葬儀は十一日より執行せら[illegible]
六里安山麓の墓所に到りしが義親王も參列
し警視廳よりは騎馬巡査六名前後の警衛を
大門外に歸りて韓國の古禮に據りて奏樂等
を爲す筈なりと云ふ因に記す完平君は皇族
止となるべく令息義陽君は相續に依り皇族
たるにあらずして別に皇族の資格を附與せ
署管內永樂町一丁目通りの交通頻繁なる四
辻に於て燒栗を販賣して通行人の妨害を爲

●搔浚ひの大縮尻
京城中部洞觀十統七戶李處一(二八)は去る十日午後七時十分[illegible]走せし所[illegible]に於て部署警官の爲め逮[illegible]せられたり

●氣象報(自十二日午後六時[illegible]

[illegible]之れを以て宮内府及各部次官高等官は大安門[illegible]同邸に到り何れも燒香を爲し令息義陽君之れを受け出棺は同日午前六時京城を去り[illegible]護衛して十二日早朝[illegible]所に到着一日だけ[illegible]禮の儀式を行ひ同夜先方を出發十三日朝南[illegible]資格を失ふ[illegible]從來[illegible]韓國の大典に依り同家に皇族たる[illegible]られ居るのみなど[illegible]たるにあらずして別に皇族の資格を附與せ[illegible]

●ヨボの通行妨害 南部李洞番戸不詳果物商金老爺(二二)は一昨日午前十一時頃南部[illegible]せし廉に依り南部署に召喚說諭せらる

●一昨夜の新町 遊廓の色餓鬼は總計八十三人にて此揚高三百八十八圓七十二錢也

[illegible]頃長谷川町二丁目十四番戸[illegible]竹下[illegible]太郎方にて家人の不在に乘じ同人妹しら[illegible]の銀側時計一個(價格十三圓)を掠め[illegible]逃

●天氣豫報(自十二日午後六時 至十三日午後六時) 晴れ

十一日(華氏) 最高溫度 七〇、七 最低溫度 四六、四

●人蔘見物記(一) 放浪生

袁世凱が駐韓公使として漢城の政界を一呑にした時代、所謂閔妃全盛の時代に於て松都人蔘の鍵を握つて居つた閔泳駿今の閔泳徽が松都人蔘耕作者に對したる、所謂蔘政なるものは頗る振つたものであつた、振はれたる爲に耕作者の方では隨分迷惑したであろう、併し此時代には蔘政官が苞苴によりて秘密に淸國人や邦人に賣渡したものも少くなかつた、之が爲に淸國人や邦人中にも少なからぬ利を得たものも多かつた、故に當時は京城、仁川には人蔘のみ當てこみに在留する邦人は少くなかつたのである閔妃の薨去と共に閔泳駿の勢力頓に去て人蔘の鍵は沈相薰に移り、其後間もなく韓國の怪傑李容翊の手に移つた、さて是からが韓國人蔘の全盛期であつた、而も監督を嚴にして王室の收入を增加せしと共に自巳も大に利する所があつたのである。

彼李容翊は斯くして王室の收入を增したる爲に大に其辣腕を認められ、一躍して内藏院卿となつた、王室の信任は彼の一身に集つた、彼の勢力は終に群雄を壓するに至つた、當時信任の最も厚かりしと云はれたる李根澤も彼の勢力に抗することが出來なかつた、李容翊が寵信を一身に集めたのは全く蔘政の宜しきを得た爲である、人蔘で立身成功したのである、是を以て見るも韓國の人蔘が王室の最も重要する富源であつたかゞ知られる、さて蔘政が李容翊の手に移てより監督の嚴となつた爲に、密買により從來少なからぬ利益を得つゝありし淸國人や邦人には非常の恐慌を來たしたのである、されども密買をするには監督者と耕作者に對して少なからぬ前貸をして居るから容易に手を退くはけにも行かぬ、茲に於てか其收穫時期には多少の强行をなしても取らねばならぬ、之が爲には番兵と格鬪するが如きは決して珍らしきことではなかつた當時人蔘は半盜半商であると評された程であつた、素より賣買禁制のものを賣買することなれば危險の伴ふは當然である、從て斯る手段を取らなければ人蔘商賣は出來なかつたのである、兎に角在留民の先驅者たる人々は斯る危險を冒して經營の基礎を堅めたのである、現在相當の資產を造て居る在留邦人中には人蔘で利を得た人も必ず少くないだろうと思ふ、之を思ふと人蔘は韓國在留者の先驅とも云はるゝ人には少なからぬ便益を與へて居ると云はねばならぬ、然らば**人蔘大明神**として祭るの價値があるではないか。

斯くも在留邦人最初の經營に益したる人蔘は今如何の狀態にあるか、内藏院を離れて度支部所管に移りて以來の蔘政は如何あるべきかとは屢々余の胸に上る問題であつた、豈料らんや、去る十日の日曜日に開城蔘政課に於て紅蔘製造の最盛期なれば見物に來いと鈴木司稅局長の案内を受けた、待ては海路の日和とは乃ち之である。

咸興電報

▲邦人同志の格鬪 九日夜咸鏡北道慶興に於て日本人職工酩酊の末互に爭鬪し一名は出刃庖丁を以て他の一名に重傷を負はせ遂に十日午後一時半死亡するに至れり加害者は直ちに慶興憲兵分遣所へ自首したるを以て目下取調中なり

●怪美人の本性(下)

▲月に背いて忍ぶは誰

▲色ご慾ごの二岐 道かけし男が企みの罠と知る由緒もなく只一筋に秋山の蜜より甘き言葉の露に醉ひ、連れて退ひてでれ前の心が夫れと決つたことならば善は急げの世の俚諺も有ることとなれば邪魔の這入らぬ内に一日も早く當地を立ち退くこと上分別、とは云へ女の事なれば夫れ相應に仕度も有らうが嵩張るものは持たぬが可し、指輪、簪、櫛類は持つて行つても邪魔にはならぬが大概ならば思ひ切つて明日とも云はず着のみ着の儘後とも云はず直ぐ此れから出立しようでないかとの相談にも梅は何んの異議も無く萬事萬端れ前任せ妾の身体は過日から

▲れ前に進て有る けにノウれ前の都合で何うなりと、と飽迄鈍き應對にシテ、やつたりと思ふ意の喜悦は色にも出さず秋山は何んと云つても年齒も行かぬ田舍娘今では斯うも云ふもの丶時經ちなば其の決心の緩むこともあるべしと思ふものから未だ明けやらぬ曉の暗を侵し梅を急き立て中津の町を夜拔け同樣仁川指して落延ぬ

▲此所迄來ば此方の物と優しい人とのみ思ひ込し秋山は打つて變つて邪慳な所爲振り夫れに加へて儲かる筈のれ金はチットも儲からぬ樣なるに欺されたナと氣の付いた時は梅は四年間二百五十圓の前借にて某亭に酌婦として賣り飛ばされたる其の時なりしが彼れ秋山は前借金を懷中せるまゝ仕合せよしと何處ともなく遁亡たり

▲親に背いた天罰 にて自ら招きし禍なれば今更誰れを怨まん樣もなく娼賣大事に勤め年期が明けるを待つより外に名思樣もなしと殊勝にも思ひ定めたるは當座の事、馴れては結句面白き淫婦の本性、且には支那人を送り夕にはヨボを迎へ頻りに怪腕を振へる内、今年の春の初めより當京城の或る質店の主人と不圖馴れ染めしに過ぐ世の緣や深かりけん互ひに憎からず思ひ初めしか京城と仁川では顏も繁々は見られねば一層の事にと去る頃少なからぬ前借金を支[illegible]ひて前記の所[illegible]妾、女房子供は無論のこと世間の人の目褄をかね夜毎に忍ぶ後姿はハテ何處やらで見た樣な、水樂町の怪美人見來る素性は斯くのごとし(終)

●支那人强盜頻々

▲隊を組んで橫行す 十月一日午後三時平安北道楚山郡樂山面桐柯洞韓鳳吉方に覆面せる支那人强盜六人侵入し拳銃及二尺餘の刀を以て脅迫したるも應ぜざりし爲め之を毆打し足蹴に負傷せしめ金一圓五十錢と銀指輪(價格三圓)を强奪し逃走したるを以て其筋に於て極力犯人搜查中なるが目下柏柯洞には無賴の支那人二百餘名在留し居るにより搜查に非常の困難を感じ居れりと又或筋に達したる電報に依れば八日夜七時京義線批峴停車場附近に支那人强盜二十餘人現はれ韓人一名殺害されたりと云ふ物騷な支那人共かな

▲芳村伊左松 眞と本名は矢崎まつと云つたばかりではまだれ馴染か薄いが先月頃迄花月に居たぽん太と云へば粹樣疾くに御承知の筈、元來美貌を驕る能はざる彼れは幼少より一心不亂に藝術を勵みし結果大抵の技には先づ一應通じて居るが中にも長唄に至つては尤も其得意とする處で恐らく韓國の舞臺で波れを凌ぐ者はあるまい、殊に本春芳村伊三郎の來韓に依つて一層其技を磨き實姉三太へ淸華亭丙)は伊壽惠、同人は伊左松と云ふ名を許して貰つた、優さしい樣でも聞かぬ氣の江戸兒、朋輩に交つて不見轉をやるのは嫌だと云つて此夏斷然藝妓稼業を廢して明治町藤田合名會社の裏手に少さき看板を掲げて三絃の糸を賴りに長唄を教へて居るが追々弟子衆も殖る樣子だ

●元仁川郵便局員の窃盜

▲恩人の蓄財を掠ふ 原籍長崎縣西彼杵郡下郷村堀川末一(三七)と云ふは中學校を卒業して可なりの素養を有する者なるが過る三十七年詐欺取財の廉に依り長崎地方裁判所にて重禁錮三ヶ月の缺席判決を受けながら大膽不敵にも仁川郵便局に奉職し三十九年頃同局扱ひに拘る仁川京町一丁目の牛肉商長尾鶴吉振出し額面七百餘圓の爲替劵を横領して翌日より病氣缺勤の屆を差出し其儘右爲替劵を所持して宛名の門司局に至り金員を詐取せんとしたるも故障ありて受取る能はざりしにぞ自暴紛れに再び仁川に立歸りたるが此事其筋の探知する處となりて窃盜犯に依り重禁錮八ヶ月に處刑され服役中前記長崎に於ける缺席判決の顚末暴露するに及びしかば其後引續き服役したるが同四十年滿期放免せらるゝや如何なる手蔓のありたるものか水原居住の農學士北澤小八郎氏と云ふ精力主義の人に雇はれ使役さるゝ事となりたるが又しても獄窓の戀しくなりたるにや右北澤農學士が勤勉力行晨に星を戴いて畑に出で夕に月を踏み鋤を擔負て家に歸り或時は自ら天秤棒を肩にして市井に野菜物を鬻ぐ等あらゆる苦心慘憺して蓄財せし現金數十圓及び時計衣類數十點を窃取して其儘遂電し行衛不明となりたれば爾來其筋に於ては所在搜查中の處四五日前前記堀川末一は元山羅南川龍岡町一丁目居住の實兄を尋ね來りたる等を聞誤付されたる末行處なくなりしにぞ仁由を敏捷にも探知せる仁川署阪下今井石川の三刑事は一昨日龍岡町居住の實兄に當る堀川某方に至り裏と表の兩方より踏み込みたるに末一は不埒にも裏口の隙間より街路に出で逃走せんとしたるより此猪口才者奴とばかり三刑事は躍り蒐つて高手小手に縛り上げ仁川署に引致して取調中なるが右犯罪の外他にも餘罪ある見込なれば嚴重に取調中なりと云ふ

●韓妓自由廢業を企つ

▲憲兵補助員が色男 仁川内洞居住の金世貞抱韓妓玉香(二四)と云ふは去る三日憲兵補助員某に誘引せられて行衛不明となりたれば所在を搜查中の處牛角洞李令甫方に潜伏せるを突き止め直に連れ歸らんとしたるに家に歸るは厭なり死んでも情夫なる憲兵補助員千鎭元の側を離れぬと頑張るより詮方なく京町派出所に出張して取調べたるに別に補助員が連れ出したる形跡も見へず只だ玉香が命までもと惚れ込みて押掛け女房を氣取りたるものと判明せしにぞ將來を戒め玉香は抱主に引渡されしと

●荷車同志の衝突

一昨十一日午前十一時頃京城本町四丁目二十二番戸硝子商橋本信次郎は韓人をして龍山市街迄商品を荷車にて運送途中本町三丁目二十七番戸先きにて本町四丁目四十四番戸酒商清力事石田暢の雇韓人が右側後方より酒樽を積載したる荷車を挽き來り橋本方ヨボと衝突しヨボは後方に轉倒し積載物品は全部破損したるに依り石田より損害辨償金五圓七十錢を支拂ひて示談にせり

●太平町民の美擧

太平町衞生組合長湊憲太郎氏は過般來虎疫猖獗を極めたる際之れが防疫に從事せられたる警官及日韓人夫中罹病斃せし故人の遺族を慰めんが爲め組内有志賛助の下に一般太平町住民より慰分義金の寄捐を得んと目下熱心に各戸に就きて勸誘中なるが右義金の處分に關しては民團或は警察署の執れかに委託する考へなりとは近頃[illegible]特の企てなりと云ふべし

●情婦を擲り倒す

十一日午後十二時過ぎ明治町三丁目梅鉢虎助方表にて同家雇人野崎利三郎(三二)なる者同人の情婦を押ゐて口論をなし果ては毆打せし騷ぎに明治町派出所三村巡査が巡回し來り情婦に歸宅を命じ利三郎は目の玉の飛出る程說諭を加へられたり

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十月十三日舊八月廿九日九紫赤口丙午なる三りんぼ△一白● 障害多き日なり新事見合の事鼠賊遺失防ぐべし△二黑●利達の日なり收利收益あり婚姻金談就職仕官等吉△三碧●紛擾事は讓步に利あり其他平靜の日旅行水利入學入門等凶△四綠●音信好事を報ずることあり兒孫の身上細密の留意を要す△五黃●進達の日なり新事決行利有り仕官就職拜謁會見等大に妙△六白●親しき人より損害を蒙るあり色情痴情を戒しむ△七赤●機敏の活動を要す機を失するの虞れあり負傷又は什寶を破損するあり△八白●榮進の日なり側始改易の事支障なし婚姻金談克く整ふ△九紫●陰晴不快の日なり旅行入學門水利等大に凶衒酒色の害を戒しむ

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

「しゝ」で候

▲○子さんあなたは嬉のとゝの待合で御通ひなさるそうですがまだ十六七の御身如何なる事情か有り升か存じませんが私は貴女の爲に涙をしぼつて居り升(同學生の○枝)▲こんな端歌があるね『蓮の葉に溜りし水は釋迦の淚か有難や所へ蛙が飛出て夫れは私しの小便と見るは智なり釋迦の淚と見るは悟なり(はの字)▲臭いもの身知らずとでも言うか自分は放屁をサ迄惡いとは思はぬ△ブーと潔よく出て臭くないは健康で音なくして臭きは胃腸に有恙の證左である△心地よきは氣兼なく轟然と出した奴で困るのは蹶で抑制する時であらう△走りつゝプブゝと連發するは滑稽だが若い女が思はず放したのは寧ろ氣の毒である△人中で融然たるを放つて知らぬ顏は卑怯だが左りとて鼻先に投附ける提屁は亂暴ではあるまいか△湯を掻き回し乍ら放つ風呂の屁は論外だ僕はコンナ事を云つて後で尻をすぼめねばよいが(春部)▲春部君理責め筆責めは厭い申さぬが屁で責め立てられては泥を吐かざアなるめえて(小僧)▲韓國慶尚北道漕道郡内西面李榮基の愚鈍息子鐘極と云ふ奴親の名を僞つて金錢を借受け居る由だが内外國人充分注意して貸さぬ樣にして下さいと當人の親から(係)

제237호 1909. 10. 13.

各種洗濯石鹸製造販賣
専門 用途一●散髪、諸工業用 道、鐵山、水道湯屋 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用 京城大漢門前 遠藤洋服店
●女中入用 三十才前後の婦人にして裁縫の心得ある人を求む 旭町一 旭町販賣所
●募集 敏捷なる外交員至急入用希望者は直接京城本六清𥡴新聞社へ來談あれ
●求職 年四十五確實なる身元保證人あり如何なる事務をも厭はず 姓名在社(四五五)
●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 爲春堂醫院
●被雇度 病醫院の醫局員として被雇たし新聞に經驗あり 氏名在社(四四八)
●職業あり十圓の資本にて一日一圓以上の職業有希望の方は御來談あれ 黄金町三番戸 國松商會
小僧入用 大和町一丁目 藤井出張店
被雇度 年廿一内地に於て小學校訓導奉職せし者會社商店を不問至急被雇たし 氏名在社(四五九)
ケー生君に告ぐ匿名にては取扱不申候 係

物件部

●電話讓渡したし 氏名在社(四四五)
●貸家 若草町一丁目にて官吏會社員向き貸家二軒あり 若草町一ノ二九 矢島
●貸家 南山町二丁目二階建二間温突外八疊外三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃面談 氏名在社(五六四)
●還用銃 十號又は十二號至急讓受けたし 龍山老松町 上田病院

廣告

梅毒 まん病 リウマチス 新藥
毒滅
各驪徴院實驗證明
本舗 大阪 森下博藥房

完全ナル懷中藥
THE JINTAN
仁丹
醫學博士三輪井上兩先生御方劑
發行所 大阪 森下博藥房 各地藥店にあり

代理店
京城南大門通三丁目 藥井藥房本店
京城本町三丁目(電話一〇六八番九〇四番) 新井藥房第一分店
京城南大門外 新井藥房第二分店

◎牛乳 純良 消毒 檢査濟
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

入院隨意
内外科 小兒病 梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

京城相生町(南門湯横)
神戸養生分院
京城梅毒病院
◎花柳病専門附、痔一般(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

張店と菊見
弊樓儀かねて増築中の處愈落成致候に付ては今般破天荒の改善を圖り來る十二日より張店となし客室の設備は勿論新たに數名の美妓を取揃へ一般粹客樣の御滿足を與ふべく殊に樓内には黄白の菊數百本陳列し中にも萬菊の如きは天下一品とも稱すべきものに有之候條秋の夜の長き徒然を慰むる資として賑々敷御來遊被下度率希上候也
京城新町 高島屋

官營 平壤無煙炭特約一手販賣
一塊炭 金九圓九十錢
一粉炭 同 金七圓九十五錢
弊店渡壹噸に付
但叺持込費代は別に申受候
平壤炭は煤煙皆無にて火力及び持久力に富み至極經濟的なる燃料なり
京城南大門外古市町二丁目(電話九四一番) 苫米地造酒彌
中部鐘路通一丁目(電話二三八番) 中部出張所
西小門外獨立門通り 西部出張所
龍山代理店(電話一五六番) 保高徳松
市内各所に取次店有之候に付御便宜の場所へ御申込被下度御注文の節は必ず平壤無煙炭と御申込願上候

辯護士 特許代理業者
岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前) 電話三五四番

東京足袋
正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升
本店東京 大和屋
京城大和町一丁目(日の出橋際)
藤井出張店 電話二百〇五番

菊花壇
例年の通り弊樓自慢の黄菊白菊數百株今を盛りと咲き亂れ本日より汎く縦覽に供し候條殿方は申迄もなく畫前は特に御婦人樣方御連立ち御來觀被下度候尤も本年は歐米の新種輸入致候て韓國無比之菊花壇確かに御一覽の價値有之者と相信じ申候
御參考
御注文に依り御一人前二十錢の茶菓差出候
御會席は御一人前壹圓五十錢にて山海の珍味を供し候
新町遊廓 皆春樓

京城ホテル
京城南山町三丁目(元日本人倶樂部事)
長電話一二三番
電話四九二番

●土耳古金口莨直輸入大販賣●
本社はトルコ最大莨製造會社にして其製品は原料精選其風味は良好無比なれば夙に世界各國に最多の輸出をなし好評を以て迎へられつゝあり御小賣とも廉價に販賣仕候
京城本町四丁目角 デーヱス、パヂリス會社出張所
仁川港本町通 仁川代理店 頴原兄弟商會

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

開業御披露
各位益々御隆盛奉大賀候陳者今回左記の處に於て十月九日より開業仕候間續々御光來御引立の程奉願上候
京城大和町一丁目(京城日報社前)電話八一二番
西洋御料理 大和亭
原料精撰、調味佳良、器具整備、待遇叮嚀當亭の特色とする所各位の御高評を相仰度願上候

廣告
時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
原金旅館
京城南山町四丁目 (電話長一〇七番)

暖爐各種
煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戸 電四七一番 馬木勇吉
龍山山下町兵器廠官舍道入口 電三六四番 馬木支店

東京火災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辦店 本町四山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

特約販賣 自製
和洋酒、◎精酎、穀物麪類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣御室に依り商品切手調進仕候
漬物 味噌 醤油 製造元
大上商店
京城本町五丁目 (電話二五一番)

蒸氣消毒牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

消毒用デシンフオルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通 (電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理 (十八銀行京城支店)

待合 春日

待合

朝鮮郵船株式會社 仁川汽船出帆廣告
仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 堀回漕店
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十月二十四日午後三時
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十月十四日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日午前四時
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 月 日正午時出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月 日午後出帆
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月 ▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金 ▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城南部西小門通 京城新報社 電話六六三